



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2025 年
10 月号
(第 28 号)

今月のことば

「石の上にも三年」
(佐々木清勝選)

2025～2026 年度 主題

クラブ会長 綿引康司「原点に回帰する」
東新部部長 深尾香子(東京多摩スマイル)「『考えること』を止めないで進もう！」
東日本区理事 山下 真(十勝)「ワイズのらしさ再発見」
アジア太平洋地域会長 田上 正(熊本むさし)「信念と愛を持って行動しよう！」
国際会長 エドワード・オン(シンガポール)「Faith, Love, Action(信念、愛、行動)」
《クラブ役員》会長 綿引康司 直前会長 伊藤幾夫
書記 伊藤幾夫 会計 伊藤江理夫 担当主事 小野 実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

今月の強調テーマ: ASF (Alexander Support Fund:ワイズの創始者アレキサンダー記念基金)

10 月例会プログラム

日時: 10 月 7 日(火) 19:00～20:30
会場: ベルブ永山 科学室 (5 階)
(小田急線多摩線/京王線「永山駅」徒歩 5 分)
会費: なし (夕食はありません)

《プログラム》

司会 伊藤江理夫 受付: 藤田 智

- *開会点鐘 綿引康司会長
 - *ワイズソング
 - *今月のことば 佐々木清勝
 - *ゲスト/ビジター紹介 会長
 - *会長挨拶
 - *今月のスピーチ
脳科学者 山口和彦さん(東京町田コスモス)
「脳と“こころ”のふしぎな関係—無意識と意識」
 - *チーム報告
 - *YMCA ニュース、各種アピール等
 - *スマイル/オークション
 - *ハッピーバースデー
 - *閉会点鐘 会長
- (お願い) 11/1(土)町田福祉バザーの品物をご持参ください。例会オークション用(酒類等)も歓迎です。

10 月の Happy Birthday

寺沢邦彦さん(2 日)、為我井輝忠さん(14 日)、
綿引康司さん(14 日)、峰 毅 さん(17 日)

巻頭言 「Hello、Excuse Me、Thank you .」

秋という季節はこんなにも遠かったのでしょうか。10 月にも差し掛かろうとしている折に猛暑日なる予報が朝の天気予報から流れて参りました。私たちの生きる環境そのものが変化し、また私たちのあとに生まれる子供たちの環境はどのような成長や経験をもたらすのでしょうか。



さて、先日かねてより訪れたいと念願しておりました富士山 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジを訪問いたしました(ユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加)。台風の影響で、道中紆余曲折があり、残念ながら遅れての到着となりましたが、暗い暗い樹海を抜けて到着した父と私を暖かく迎えてくださった皆様に感謝いたします。また、ユースの方々の研修の模様を拝見し、その真摯な姿勢とホスピタリティ溢れるふるまいは今後の YMCA の進む未来を明るくて照らしていたと感じます。また、素晴らしく整った宿泊設備で一泊した後、迎えた早朝、筆舌に尽くし難い絶景の富士山に感動しつつ、短い滞在を終え帰路につきました。さて、現在私は日本の中心地、東京銀座に通勤しております。一言、銀座は異国です。Hello、Excuse Me、Thank you. 1 日に必ず使う英語です。しかし、これは英語だからではなく人間が生きて上であたり前の言語であり、それだけで心をあたためる、魔法の言葉であると思うのです。
(伊藤江理夫記)

9 月例会	在籍15名 (内広義会員4名) 例会出席 13名	出席内訳	メンバー 8名 メーキャップ 3名 出席率 100% メネット 0名 ゲスト・ビジター 5名	BF切手 (今年度累計 0g)	0g (今年度累計 0g)	オークション (今年度累計 0円)	0円 (今年度累計 0円)
				ぼんぼこファンド (今年度の累計 0円)	0円 (今年度の累計 0円)	スマイル (今年度累計 7,150円)	0円 (今年度累計 7,150円)

9 月例会報告

9 月例会は、9 月 2 日(土)19:00~20:30、玉川学園コミュニティセンター 2 階多目的室で開催しました。開会のことば（鐘が準備できませんでしたので開会のことば）、ワイズソング、今月の言葉、ビジター・ゲスト紹介のあと、綿引会長の挨拶がありました。ゲストスピーカーは、桜美林大学健康福祉学群准教授の谷内孝行先生（＝写真左端）。谷内先生との出会いは、2017 年の部大会（伊藤幾部長）で、ゼミの学生さんたちにボッチャを指導していただいたのがご縁でした。その後、東京むかでクラブの山中湖センターでの YYY シニアキャンプでも、谷内先生およびゼミ生をお招きしたというつながりがあり、今回のスピーチをお願いしました。



「障害とは何でしょうか？」と題しての卓話は、まず、参加者に質問という形で入りました。私たちがいかに「障害」「障害者」に対して、思い込み、決めつけ、偏見を抱いていたかを自問させられました。現在、「障害」のとらえ方で求められているのは、「障害者が日常生活や社会生活で困難に直面する原因は、社会の環境が『障害』を作っているからである。困難を取り除くのは社会の責任である」、つまり、私たちに「合理的な配慮」が求められているということです。このことは、すでに 12 年前の 2013 年に「障害者差別解消法」が法制化され、2024 年には事業者（企業等）にも「義務化」されたということです。卓話を通して、いかに私たちが「障害」ということに無自覚だったかを学ぶ機会となりました。時間の関係で、報告等は割愛しました。

《出席者》石田、伊藤幾、尾張、為我井、深尾、藤田、峰、綿引

《ビジター》小口多津子、稲葉恵子（以上東京八王子）《ゲスト》谷内孝行、衛藤裕子（シャロームの家）、大村新吾（町田ボラ連協）合計 13 名
《メーキャップ》伊藤江、小野、田中（伊藤幾記）

9 月第 2 例会(運営会議)報告

9 月 9 日（火：定例の第 2 月曜日が別の会議と重複したために変更）19:00 から 20:30、第 2 例会（運営会議）が Zoom にて開催されました。9 月例会報告、会計報告、前期区費等送金報告、東新部臨時評議会報告（別掲）、YVLF 報告、プランター野菜講座の今後について、ぽんぽこ農園関連、社協等の報告がありました。プランター野菜講座の今後については、

とりあえず、今秋の講座はスキップすることとなりました。11/1(土)の町田福祉バザーに参加、サツマイモなどの販売を予定。ブリテン 10 月号の割付、10 月例会スピーカー、プログラム等を確認しました。協議事項として、以下のことが決まりました。

- ・ 11 月例会のスピーカー第 1 候補として、慈有塾副代表の宮道さん（深尾さんが打診）、第 2 候補として当クラブの田中博之さん（野鳥の話）
- ・ 12 月例会は、12/2(火)クリスマス例会として、会場をココリア「畑 de キッチン」予約（深尾）、慈有塾、ほくの家関係者も招待する
- ・ 9/27(土)東京 YMCA チャリティーランへの協力については、クラブとして 3~5 万円を東京 YMCA 医療福祉専門学校チームへ支援する
- ・ ワイズカレンダー（1 部 1,100 円）については、クラブとして 10 部購入し、個人注文は綿引会長が取りまとめる
- ・ 来年の当クラブ 10 周年について、アイデアを綿引会長に提出する

今後の行事予定を確認して閉会しました。

＜出席者＞石田、伊藤(幾)、小野、尾張、田中、為我井、深尾、綿引（伊藤幾記）

災害スタディに参加して

9 月 20 日、災害スタディ（東京 YMCA 主催）に参加して来ました。東陽町近辺在住の会員、社協職員の方々と複数クラブのワイズ総勢 40 名強により【街歩き】各種の防火設備の探索→【昼食・休憩】非常食を試食→【工作】簡易トイレ、照明器具の製作を体験。今事業の目的は「災害時には近隣住民同士の協力が不可欠である」ということを肌感覚で知ること、とのことでしたが本当にその通り。平時から自分が住む町に関心を持ち、ご近所コミュニティには積極参加、何歳になっても「諦めないこと」が実は周りを助けることにもなる（←救助に手間を取らせない）ということをしつかりと学びました。「被災地支援！」と声を上げる前に、我々は先ず、自分のことから取り組む努力をしましょう。わが町自慢大会... やってみませんか。（深尾記）



（写真＝災害スタディ参加の皆さんと）

10 月例会スピーチ

脳と“こころ”のふしぎな関係— 無意識と意識

スピーチ：山口和彦 さん
脳科学者
東京町田コスモスクラブ



《プロフィール》

1953 年、東京生まれ。東大理学部在学中は目黒 YMCA リーダー。東大大学院在学中は障がい児のためのプログラム、“目黒 YMCA こどもの広場”、“東大病院医療と教育を考える会”にボランティアで参加。その後、パデュエ大学、国立生理学研究所、杏林大学、理化学研究所に勤務。2019 年退職。現在は国立精神神経センターの客員研究員。専門は脳神経科学。2023 年 11 月から東京町田コスモスワイズメンズクラブ会員、現在、クラブ会長。

《スピーチ概要》

私たちの“こころ”は脳のはたらきによると考えられていますが、主にタンパク質と脂質でできている脳（実物を見てみましょう）に、どのようにして“こころ”が生じるのか、今でもナゾのままですが、物質的に脳が萎縮すると“認知症”になります。今回は針麻酔の仕組みについても神経生理学的に考えてみたいと思います。また脳の機能の中には“意識”にのぼらないはたらきもあり、実際に体験していただきたいと思います。そして認知症のリスクを減らす 14 項目と食べ物、ストレス回避の方法等についてもお話いたします。最後に人間に与えられている共感、愛、平和に関する脳のはたらきについてもご紹介したいと思っています。

YY 茶お会

9 月 12、15 の両日、私の仕事場を開放し、9 名にて「お試しチャリティお茶会」を実施しました。YY イベントのグループメールで呼び掛けたところ、部を越えた複数クラブからのご参加希望が届き、嬉しい悲鳴となりました。内容は、単なる観光地のお遊びではなく、本物をご提供。とはいえワイズ企画なので本来の茶懐石を半分だけ体験して頂きました。集合～歓談→露地・つくばい・踊り口→挨拶～今日のテーマ共有→軽食→菓子&濃茶・薄茶。第 1 回は皆さんまずまずのご様子。会計は、実費に添えて、皆さまから篤志を頂戴しました。年度末までに複数回を計画中ですので、仲間はもちろん、ワイズ以外のご友人もお誘い下さい。次回は秋の風情をお楽しみいただこうかな。収益金は東日本区のサポートファンデに寄付致します。（深尾記）

ユースボランティア・

リーダーズフォーラム（YVLF）に参加して

9 月 5 日から 7 日までの 2 泊 3 日、富士山 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジで開催された YVLF に参加しました。初めての参加で戸惑うことが多かったですが、素晴らしいプログラムの下で、たくさんの貴重な経験をすることができました。YVLF は東日本区の各地にある YMCA で青年ボランティアとして活動している若者たちが 50 名ほど参加し、YMCA を支援しているワイズメンズクラブの皆さんとの合同のフォーラムでした。

今回の大きなテーマは「環境問題」で、先ず、ホールアース自然学校の山崎宏氏の基調講演が 2 回ありました。この講演を基に、各ユースのグループが何度も話し合い、それぞれ提言をまとめ、最終日に発表されました。今後、各グループが地元に戻ってどのように継続していくかが課題となるのではないのでしょうか。

我がクラブのメンバーであった故城田教寛さんが昨年のこのフォーラムで実行委員長を務めていた際に急死するという不幸に見舞われたが、凶らずも 7 日はその命日でした。ワイズの皆さんで彼を偲んで追憶のひと時を持つことができました。（為我井記）



東新部臨時評議会報告

8 月 29 日(金)19:00～20:20、オンライン(Zoom)で臨時評議会が開催されました。評議会構成員 19 名中 18 名出席(リアル 14 名、委任状 4 名)でした。当クラブからの出席は、深尾、伊藤幾、石田、小野、為我井、峰(委任状)、綿引(委任状)、伊藤江(委任状)でした。

議案は 2 件で、一つは次期部長の選出。もう一つは修正予算案の承認でした。次期部長については、今期の深尾部長が次期も継続することが承認されました。石田部会計からの修正予算案提案は、今年度からユースボランティア・リーダーズフォーラムの東日本区への拠出金制度変更に伴い、予算が組み直されました。こちらも承認されました。

今年度は当クラブのメンバーが多く部役員を担っております。次年度も部長を継続される深尾さんを、クラブを挙げて支援していきましょう。（伊藤幾記）

東京YMCAチャリティーランに参加して

9月27日、江東区の本場公園にて第39回東京YMCA国際・チャリティーランが開催されました。当日は好天に恵まれ、その中で多くの方々と交流し、楽しい1日を過ごすことができました。

今回当クラブは東京町田コスモスクラブとともに「東京YMCA 医療福祉専門学校チーム」のスポンサーとなり、また当日は、私たちもボランティアとして競技のサポートを行いました。当クラブの担当主事である小野実さんはランナーとして参加し、目一杯頑張ったの走りを見せてくれました。お疲れ様！

今年の大会は在京の12クラブすべてがチームスポンサーとなる画期的な大会で、当日も多くのワイズメンが集ったことも大会を盛り上げたひとつの要因といえます。チャリティーランは東京YMCAが開催するイベントの中で最大規模のもので、東京YMCAに連なる多くの方々が参加することから、人的交流やYMCAを支えるという意味からも引き続き参加をしたいと思っています。

(綿引記)



町田秋季福祉バザーのお知らせ

11月1日(土)10:00～15:00、「ぽっぽ町田」広場にて、秋季福祉バザーが開催されます。このバザーに当クラブも出店します。販売品は「ぽんぽこ農園」で収穫されたサツマイモを予定しています。他にも不要品バザーを予定しています。みなさんへお願いですが、10/7(火)の10月例会に、ご家庭にある提供していただける品物がありましたら、ご持参いただくと幸いです。よろしくお願いします。

また、当日お手伝いができる方は伊藤幾までお知らせください。当日、雨天の場合は11/5(水)に延期されます。(伊藤幾記)

今後の予定

10/7(火) 19:00～20:30 10月例会 ベルブ永山
10/9(木) 19:00～20:30 東新部Y友広場 Zoom
10/10(金) YY イベント「金毘羅宮愛宕神社」
10/13(月、祝)19:00～20:30 10月第2例会 Zoom
10/29(水)19:00～20:30 在京12クラブ会 Zoom
11/1(土) 10:00～15:00 町田秋季福祉バザー
11/4(火) 19:00～20:30 11月例会 玉川学園
(11/5(水) 町田秋季福祉バザー予備日)
11/10(月) 19:00～20:30 11月第2例会 Zoom

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

○今年2月～4月にかけて呼びかけたクラウドファンディングによるご寄付により外国にルーツのある子どもたちを対象としたサマーキャンプを8月22日～24日に実施しました。

○9月1日、「関東大震災第102周年記念追悼合同早天礼拝」を、在日本韓国YMCAと共催で、在日本韓国YMCAで開催し、45名が出席。李明生牧師(日本福音ルーテル教会 むさしの教会)に「その日を望みつづ」と題してメッセージをいただきました。

○東京YMCA 高等学院が小田原短期大学等と協働で実施している「ホテル観賞会研究プロジェクト」が特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催「第19回キッズデザイン賞」の「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」で受賞しました。

○9月20日、「2025 災害スタディ」を東陽町センターで開催し、地域の諸団体や企業、障がいのある方、東京YMCA 会員・職員等44名が参加しました。

○今後の主な行事予定

・「早天祈禱会」10月1日(山手センター／オンライン)

奨励：神谷幸男氏(東京西ワイズメンズクラブ)

・「J.T. スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」(横浜YMCA 共催) 10月25日(横浜外国人墓地)

・「ソウル・台北・東京YMCA 指導者協議会」

11月4日～6日 会場：東京YMCA

テーマ：「Our Responsibility for the Future – To Leave No One Behind」

・「第27回愛恵エッセイ」11月14日まで作品募集(愛恵福祉支援財団との共催)

テーマ：「豊かな福祉社会を創るために」

・「国際協力一斉街頭募金」11月15日新宿駅周辺

編集後記

10月に入り、ようやく厳しい暑さから解放されました。9月まで続いた猛暑は、想像以上に私たちの身体にダメージを与えたようです。「猛暑の後遺症」は人によって様々なようで、ある人はめまい、ある人は喉の炎症など、私の知り合いの後期高齢者にそのような症状を訴えていらっしゃる方を多く見かけます。私自身は「めまい」に悩まされました。ひどいときは、朝起きたら、天地がぐるぐる回って起き上がれない。しかたなく、這いながらトイレに行きました。再びベッドに戻って、横になっていたら2時間ほどで治まりました。みなさんもお自愛ください。「無理は禁物」の年代に入っていることを自分に言い聞かせながら。(伊藤幾記)